

(学校番号006)

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【本太小学校】

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<p><学習上の課題> 授業で学んだことを他の学習や生活に生かしていく力に課題がある。</p> <p><指導上の課題> 実生活との関連性や教科横断的な結びつきを意識した学習活動の計画・実施。</p>	<p>⇒ ICTを効果的に活用し、単元終盤では、学んだことを活用したまとめ方の工夫をする。(リーフレット作りやプレゼンテーション、ポスターセッションなど)【学期に1度の実施】</p> <p>⇒ スクールダッシュボードを活用したり、意図的・計画的な設問等による振り返りの時間を確保したりする。【学年の実態に応じて単元・教科ごとに設定し、必ず単元の最後には振り返りを実施】</p>
思考・判断・表現	<p><学習上の課題> 話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることに課題がある。</p> <p><指導上の課題> 目的に応じた話し合い活動や協働的な学習の工夫や評価の充実。</p>	<p>⇒ 話し合いの視点を明確にしたり、相手意識をもたせたりし「相手に伝わるように話す」ことができるようにする。また、ICTの共同編集機能や共有機能等を活用し、協働的な学びを通して、考えを表現したり深めたりする。【R6さいたま市学習状況調査「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」の質問項目において、肯定的な回答の割合が90%以上】</p>

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	<p>全国平均と比べて国語・算数共に高い正答率であった。しかし、「算数は好きですか」の設問における肯定的な割合は6割、「国語は好きですか」の設問における肯定的な割合は7割にとどまっており、興味関心を引き付けたり、知識をより深めたりする指導を工夫していく。また、「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」の設問では8割の児童が肯定的な回答をしている。実生活と結びつけた指導の工夫やねらいに応じた振り返りの時間の充実を今後も継続していきたい。</p>
思考・判断・表現	<p>全国平均と比べて国語・算数共に高い正答率であった。一方で、国語・算数ともに記述式の問題において途中で回答をあきらめたり、全く問題に回答しなかったりする児童の割合は10%であった。また、最後まで記述していても他の設問に比べて誤答が目立つため、読み取った情報を整理し、自分の考えを明確に表現する力をより一層身に付けさせたい。</p>

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	B	<p>教科や単元の特性に応じて、ICTを活用した授業マネジメントの工夫をすることができた。学年の実態に応じて振り返りの時間を確保することができたが、学習効果をより高めていくために、視点を明確にした振り返りを実施していく。</p>	変更なし
思考・判断・表現	B	<p>夏季休業中に、職員研修の機会を設定し、ICTの共同編集や共有機能の効果的な活用の仕方について学んだ。今後の授業で指導に生かしていく。「相手に伝わるように話す」ことには、個によって課題が見られるため、引き続き、相手意識をもたせる指導を工夫していく。</p>	変更なし

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

⑤	評価(※)	授業改善策の達成状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

※評価
 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)